

チャレンジ精神に満ちた
パッケージングソリューション・プロバイダー

2019年12月期第1四半期決算説明資料

竹本容器株式会社

(東証1部 4248)

2019年4月26日

資料構成

1. 2019年12月期第1四半期業績概要

2. 参考資料



1. 2019年12月期第1四半期業績概要

2019年12月期第1四半期連結決算ハイライト

- ・スタンダードボトルを軸として化粧品向けを中心に需要が伸び、前年同期比で売上高は続伸。
- ・計画比では国内を中心に売上高が増加したものの、海外での売上がやや減少し若干の未達。
- ・営業利益は仕入、原材料費及び労務費等の増加の影響で粗利率が減少し販管費の増加もあり減益。

	2018年1-3月期 ¥17.04/RMB ¥108.22/USD	2019年1-3月期 ¥16.33/RMB ¥110.22/USD	前年同期比		2019年計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	百万円 3,727	百万円 3,981	百万円 + 253	+6.8%	百万円 ▲ 77	▲1.9%
営業利益	446	410	▲ 35	▲8.0%	+ 78	+23.6%
売上高営業利益率	12.0%	10.3%	▲1.7P	—	+2.1P	—
経常利益	456	427	▲ 28	▲6.3%	+ 85	+24.9%
四半期純利益	301	287	▲ 13	▲4.5%	+ 59	+26.0%
減価償却費	246	267				
設備投資額	657	569				
(うち 金型)	92	164				
EBITDA	692	677				

1. 2019年12月期第1四半期業績概要

地域別グループ企業業績

日本

百万円

	2018年第1四半期	2019年第1四半期	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	2,830	3,120	+289	+10.2%	+76	+2.5%
営業利益	355	329	▲26	▲7.3%	+45	+16.2%

売上変動要因

- ① 化粧品向けを中心に、積極的な開発提案型営業の展開により新規案件とリピート注文を獲得。
- ② 大口注文の増加により売上高が増加し前年同期比、計画比ともに増加。
- ③ 積極的な生産機械投資、自動化投資により製品供給力が増加。

利益変動要因

- ① 売上高は増加するも仕入額、材料費及び労務費等の増加により売上総利益額は増加も率は減少。
- ② プラスチック原材料価格は前年同期比で上昇（10百万円負担増）。
- ③ 前年同期比では売上総利益額は増加するも人件費、物流費等の増加により営業利益は額、率ともに減少。
- ④ 計画比では原材料費、労務費等が減額となり、売上総利益額が増加し営業利益はプラスに。

1. 2019年12月期第1四半期業績概要

地域別グループ企業業績

中国 ※ () 内はRMBベース

百万円
(百万元)

	2018第1四半期 ¥17.04/RMB	2019第1四半期 ¥16.33/RMB	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	884 (51)	865 (52)	▲19 (+1)	▲2.2% +2.1%	▲107 (▲7)	▲11.0% ▲12.8%
営業利益	108 (6)	121 (7)	+13 (+1)	+12.2% +17.1%	+34 (+1)	+39.4% +36.6%

売上変動要因

- ① 昨年からのリピート注文が継続し元ベースで売上高は増加するも、換算の影響で円ベースでは若干の減少。
- ② 開発提案型営業の展開によりスタンダードボトルの売上は増加。
- ③ 大口案件の注文の減少により計画比では減少。

利益変動要因

- ① リピート注文が多く粗利額が増加し前年同期比、計画比とも売上総利益額、率は増加。
- ② 販管費は前年同期比とほぼ同額に抑え、営業利益率は14%台に。
- ③ プラスチック原材料価格は前年同期比で低下し、原材料費は約4百万円の減少。

1. 2019年12月期第1四半期業績概要

区分別販売実績

販売先の主要事業内容ごとの販売実績

- ・国内海外ともに開発提案型営業の展開により化粧・美容区分の売上は大幅増加。
- ・食品・健康食品区分は国内の営業強化とリピート注文増により売上増加。

区分	2018第1四半期		2019第1四半期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
化粧・美容	2,285	61.3	2,415	60.7	+130	+5.7
日用・雑貨	171	4.6	189	4.8	+18	+10.8
食品・健康食品	281	7.6	351	8.8	+70	+24.9
化学・医薬	199	5.4	187	4.7	▲12	▲6.3
卸、その他	790	21.2	837	21.0	+47	+6.0
合計	3,727	100.0	3,981	100.0	+253	+6.8

※上記区分は販売先の主要事業内容により分類したものであり、販売先における実際の用途と上記区分名称は異なる場合があります。

1. 2019年12月期第1四半期業績概要

区分別販売実績

製商品の内訳ごとの販売実績

- ・国内海外ともにスタンダードボトルを軸として化粧品向けを中心に需要が増加し売上は増加。
- ・国内のカスタムボトルは増加するも、海外のカスタムボトルは大口案件が少なかったこともあり売上は減少。

区分	2018第1四半期		2019第1四半期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
自社製品 (スタンダードボトル)	2,657	71.3	2,933	73.7	+276	+10.4
顧客金型製品 (カスタムボトル)	417	11.2	344	8.7	▲72	▲17.4
他社製品	578	15.5	629	15.8	+50	+8.8
材料その他	74	2.0	73	1.8	▲0	▲1.3
合計	3,727	100.0	3,981	100.0	+253	+6.8

※上記区分は以下により分類しています

自社製品：当社所有の金型を用いて生産した製品（スタンダードボトル）

顧客金型製品：顧客が金型費用を負担している製品（カスタムボトル）

他社製品：顧客の要望等により他社から仕入れた品物

材料その他：協力メーカーへの原材料を販売した物等

1. 2019年12月期第1四半期業績概要

金型（新製品）開発状況

当社はパッケージソリューションプロバイダーとしてより多くの顧客に利用いただけるボトルや付属品の品揃えを充実させ、さらに顧客商品の価値を高めるカスタマイズ（着色、印刷などの加飾）を行うことで世界の器文化に貢献しています。このためスタンダードボトル容器の成形に不可欠な総金型数及び年間の金型製作数はKPIの一つとして重要視しています。

現在進行中の中期経営計画においては、内容物の価値と個性化を高めるデザイン、優れた機能性、技術、そして高い信頼性を備えたボトルパッケージを顧客に提供していく「Standoutな価値創造」を目指した開発にも注力することとしています。

2019年第1四半期の金型製作の進捗状況（新規製品の増加の状況）は下表のとおりです

金型数

	2019年第1四半期 完成金型数	2019年第1四半期 保有金型累計数	製作中
日本	35 (3)	2,361	29 (12)
中国	11 (3)	1,120	44 (8)
インド	1 (-)	18	22 (2)
オランダ	-	6	15 (2)
合計	47 (6)	3,505	110 (24)

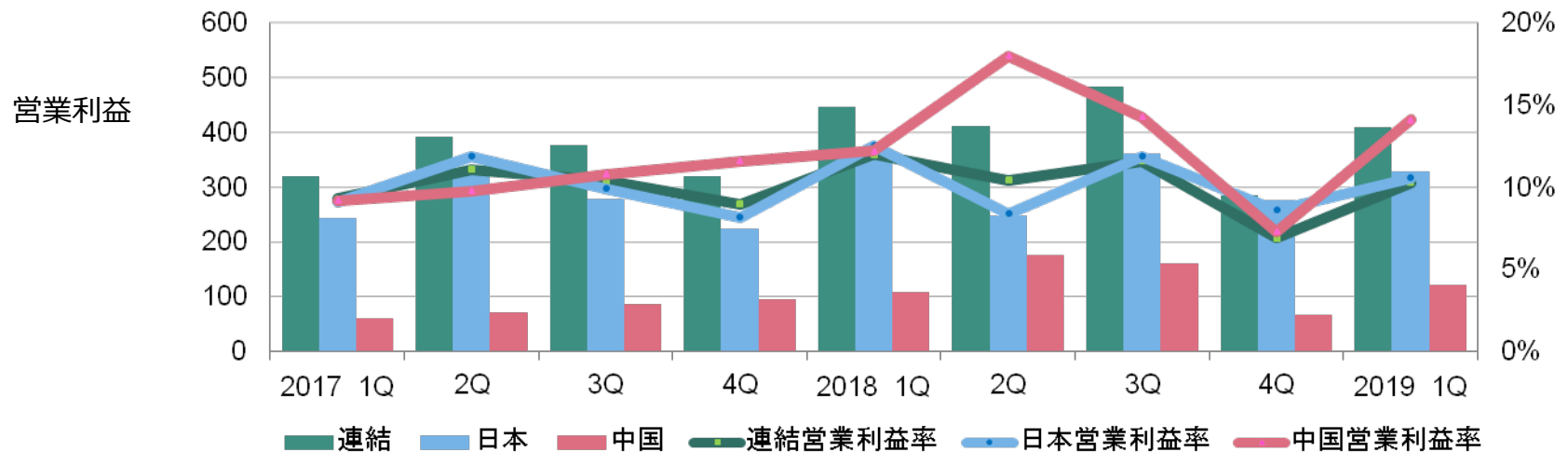
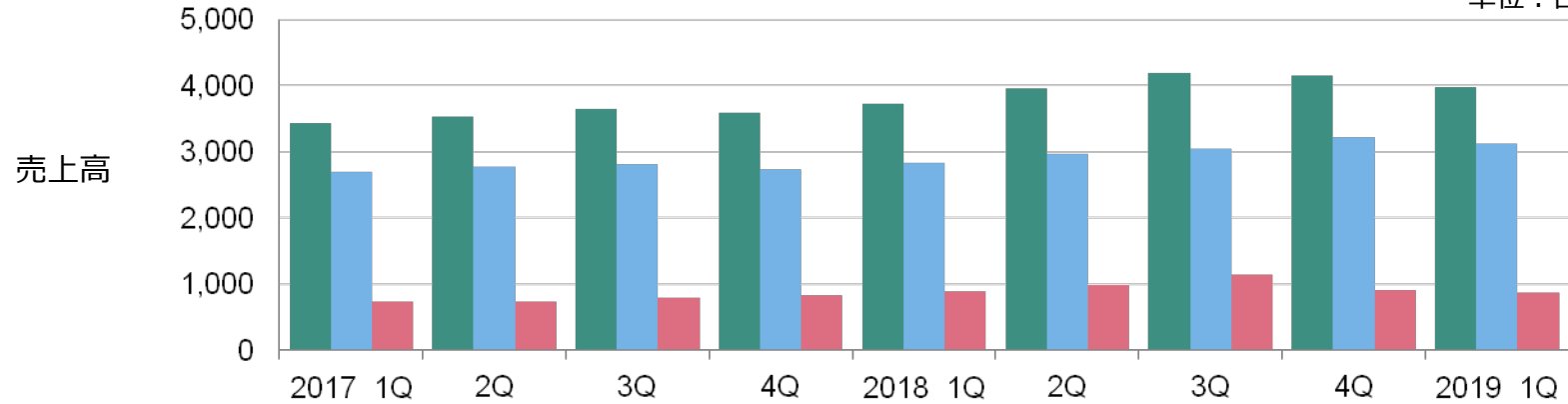
※表の（ ）はカスタムボトル用金型（外数表示）

2019年3月末時点での自社金型数は**3,505型**となっている。

1. 2019年12月期第1四半期業績概要

2017年以降の四半期業績の推移

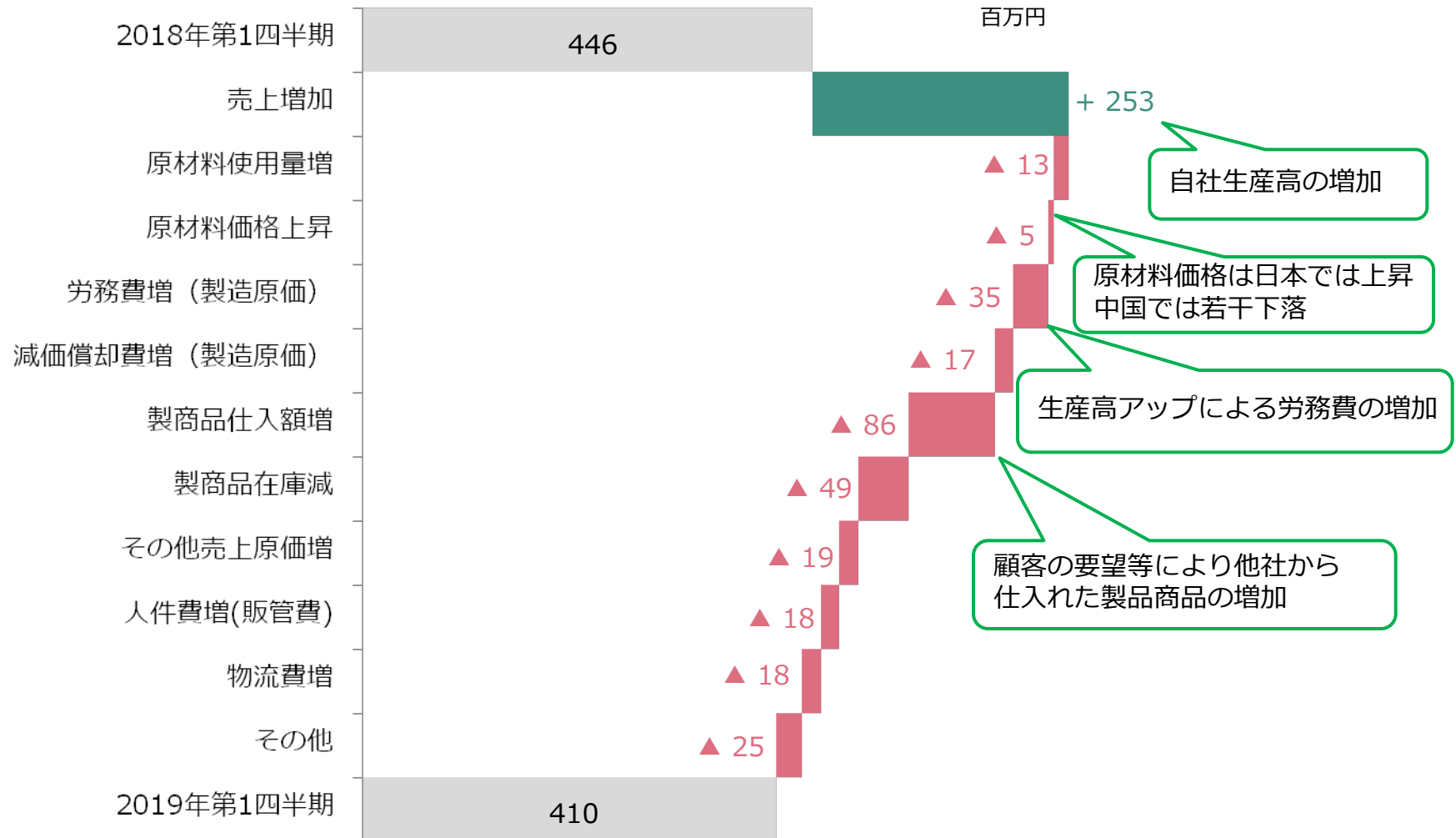
単位：百万円



※日本、中国はそれぞれ当該地域のグループ企業業績を示している

1. 2019年12月期第1四半期業績概要

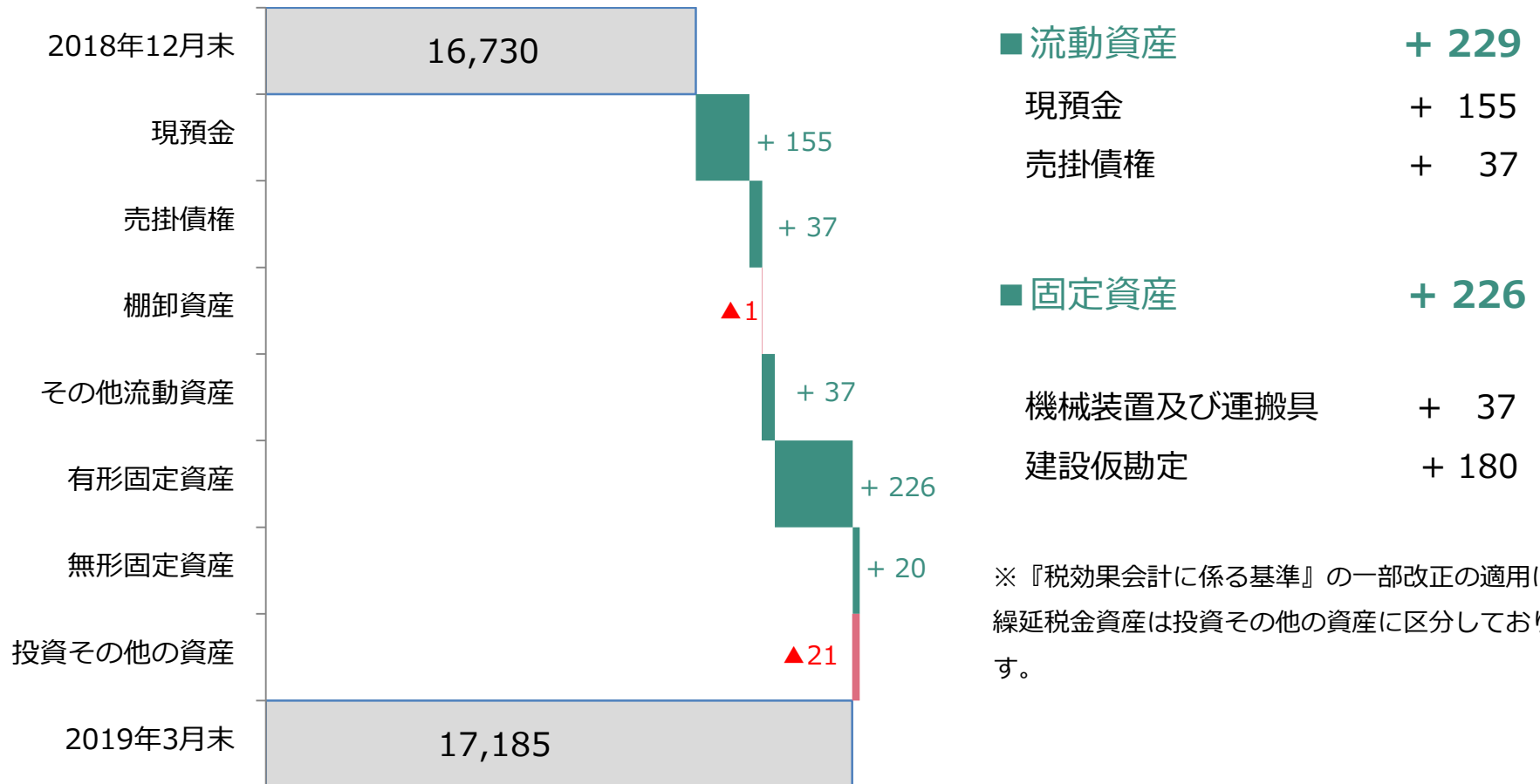
2019年12月期第1四半期 営業利益の変動分析



1. 2019年12月期第1四半期業績概要

2019年12月期第1四半期 連結貸借対照表 資産の部

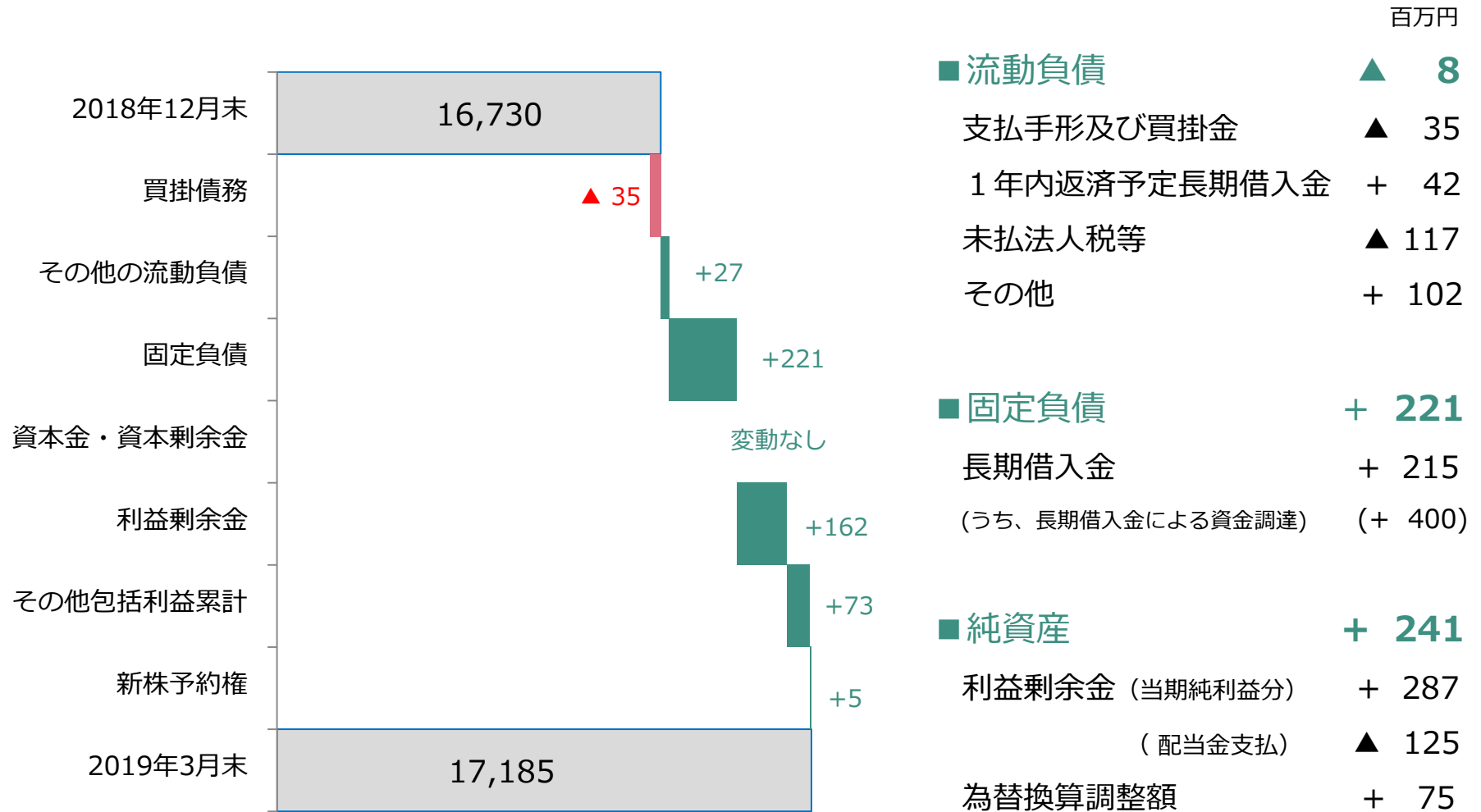
百万円



※『税効果会計に係る基準』の一部改正の適用により繰延税金資産は投資その他の資産に区分しております。

1. 2019年12月期第1四半期業績概要

2019年12月期第1四半期 連結貸借対照表 負債・純資産の部



資料構成

1. 2019年12月期第1四半期業績概要

2. 参考資料





竹本容器株式会社
代表取締役社長

竹本 笑子



会社名

竹本容器株式会社

Takemoto Yohki Co., Ltd.

設立年月

1953年5月19日（昭和28年）

代表者

代表取締役社長 竹本 笑子

所在地

東京都台東区松が谷2丁目21番5号

事業内容

プラスチック製等の包装容器の製造及び販売

資本金

8億314万4,725円

発行済株式数

6,264,200株（2018年12月31日現在）

12,528,400株（2019年1月1日現在）

株主数

4,548名（2018年12月31日現在）

グループ従業員数

959名（2018年12月31日現在）

上場市場

東京証券取引所市場第一部

[証券コード：4248]

ホームページ

<http://www.takemotokk.co.jp>



JQA-FC0115
結城事業所
食品用プラスチック
包装容器の製造
(印刷製品は除く)



本社



合羽橋ショールーム



大阪営業所・ショールーム



福岡営業所・ショールーム



名古屋営業所・ショールーム



北海道営業所



Standout ラボ(建設中)

“Standout”な価値創造

Standoutな価値創造